



やわらかな個性を身につける。
宮崎公立大学
MMU LIBERAL ARTS

宮崎公立大学定期公開講座「オリンピックとメディア」第3回講座

2020 東京オリンピック・ パラリンピックへの道

～宮崎は連携・協力ができるのか～

講師

市原 則之 氏

日本オリンピック委員会前専務理事
東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 副理事長
日本ハンドボール協会副会長

1985年から全日本実業団ハンドボール連盟理事長。その後も日本ハンドボール協会専務理事を経て、同協会副会長（日本ハンドボールリーグ機構会長）を務め、実務のトップとして運営にあたる。日本オリンピック委員会(JOC)では1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネオリンピック大会(アテネ対策特別委員会委員長)と連続して本部役員を務める他、JOC常務理事兼選手強化副本部長・JOCゴールドプラン委員長を務める。また2005年には日本トップリーグ連携機構(会長森喜朗)の設立に尽力し専務理事に就任、各リーグの連携を通じて、国際競技力向上の実務を担当する日本スポーツ界のリーダーの1人である。2009年4月、日本オリンピック委員会(JOC)専務理事に就任。



コメンテーター

宮元 章次 教授

宮崎公立大学人文学部教授
宮崎公立大学 地域研究センター長
日本ハンドボール協会評議員

平成26年

10月3日 金

宮崎公立大学 103大講義室

午後6時30分～午後8時

(受付:午後6時～)



事前の申し込みが必要です。詳細は裏面をご覧ください。